

地域情報研究所

The Research and Development Institute of Regional Information



ローカル、グローバル、グローカルの視点で「地域」を研究し 現代における総合的な「地域科学」を確立する

グローバル化と市場化が進む社会にあって、人々の暮らしの場である「地域」の持続的発展は極めて重要な社会課題です。地域情報研究所は、「地域」のあり方を多面的に捉え、現代における総合的な「地域科学」を確立することを目的として、1999年に設立されました。以来、時代とともに変化する地域をめぐる多様な課題と向き合い、「地域」を基軸とする研究領域・方法の開拓と、「地域科学」の実践を通じてより良い社会の形成に貢献することを目指してきました。

現代は、ローカルな地域や都市が自立性を保ちながらも、否応なく広域（リージョナル）、国民国家（ナショナル）、世界（グローバル）の影響を受けることから、圏域の重層性を意識した

「地域科学」の構築が必要とされています。こうした問題意識のもと、本研究所では、「グローバル」「ローカル」「グローカル」の3つの重点テーマでプロジェクトを展開しています。「グローバル」に関する研究プロジェクトでは、アジア各所で顕在化する資源問題を中心に、アジアの将来を展望する研究に取り組むとともに、それが地域にどのような影響を与えるのかを探索しています。「ローカル」プロジェクトでは、大阪府茨木市を中心とした北摂地域を対象に、社会学、歴史学、経済学、経営学、社会心理学などの学際的なアプローチで、地域に蓄積されてきた社会文化的・歴史的資源を再発見し、データベース化して発信することを目指しています。さらに「グローカル」プロジェクト

では、日本およびアジア諸国において都市の拡大・縮小過程で顕著になっている都市問題をさまざまな角度から研究しています。

本研究所の特長は、政府、自治体、企業、住民などと社会的ネットワークを形成し、それらと連携しながら「地域科学」を実践するだけでなく、学術研究を通じて「アジア都市論」などの理論構築を目指すところにあります。そのために海外の研究者とも共同・対話を重ねています。また「地域」に着眼しつつも「グローバル」の重要性を認識し、アジア地域の諸課題にも関心を広げる点は、本研究所が拠点を置く立命館大学大阪いばらきキャンパス(OIC)のコンセプトである「アジアのゲートウェイ」とも合致しており、本研究所はOICの発展に寄与する役割も担っています。

今後も「グローバル」「ローカル」「グローカル」において各テーマを追求しつつ、それらの研究成果を総合して現代の「地域科学」の確立し、未来社会を切り拓いていきます。



学生・院生の皆さんへ

都市や地域は私たちが日々を生きている場であり、そこには社会の状況が投影されています。ここから物事を考えることは、社会のあり方を考える上で最も大切な視点となります。身近な地域で営まれている福祉、教育、まちづくりなどは、私たちが社会の制度や政策を検討するための優れた題材です。ぜひ当研究所の取組を皆さんの学びに活かしてください。



企業・NPO・自治体等の方へ

当研究所では、企業・NPO・自治体等との連携に基づく実践的な研究活動を推進しています。現場の「実践知」を研究の「理論知」と融合し、社会に貢献できる地域科学を追求しています。産官学連携は当研究所の発展の源泉であるとともに、その成果を社会に還元するための大切なチャンネルです。当研究所への連携・協力を検討いただければ幸いです。



地域・市民の皆さんへ

当研究所は様々な機会に市民の皆さんとの交流活動を行っています。地域での暮らしは生きた素材を提供してくれる情報の宝庫です。それを多くの市民の方々と共有し、そこで生じている問題を共に考えることは、私たちの理念である良き市民社会をつくっていくために不可欠な営みです。当研究所のイベントへ多くの皆さんがご参加することを願っています。



主な研究テーマ

- 都市計画と交通政策
- 再生可能エネルギー政策
- 持続可能な地域共生社会
- 防災・減災対策と地域コミュニティ
- コンパクトシティ政策
- ニュータウンの再生
- 自治体の地域産業政策
- 地域循環型経済の構築
- 環境教育プログラムの開発
- 高齢者福祉と家族
- 公共施設の統廃合問題
- 自治体の財政分析



研究所長：森 裕之（政策科学部 教授）
主な研究拠点：大阪いばらきキャンパス

お問い合わせ：立命館大学 研究部 OICリサーチオフィス 地域情報研究所事務局

TEL: 072-665-2570 FAX: 072-665-2579 ①: rdiri@st.ritsumei.ac.jp <http://www.ritsumei.ac.jp/research/rdiri/>